10. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。（注２）

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
⑴現金及び預金	5,188	5,188	—
⑵未収金	233	233	0
貸倒引当金	△ 149		
	84	84	0
⑶民事法律扶助立替金	20,389		
貸倒引当金	△ 12,527		
	7,862	7,844	△ 18
⑷長期性預金	200	200	—
⑸破産更生債権等	8,504		
貸倒引当金	△ 8,504		
	—	—	—
⑹未払金	(3,413)	(3,413)	(—)
⑺預り金	(173)	(173)	(—)
⑻リース債務	(161)	(164)	(3)
⑼長期リース債務	(146)	(136)	(△ 10)

㈱　負債に計上されているものは、（　）で示しております。

（一般勘定）

（注１）金融商品の時価の算定方法に関する事項

⑴現金及び預金、⑹未払金及び⑺預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

⑵未収金及び⑶民事法律扶助立替金

民事法律扶助立替金及び未収金のうち、一般債権については、期間に基づく区分ごとに、債権の合計額を同額の資金を調達した場合に想定される国債の利率で割り引いて時価を算定しております。また、貸倒懸念債権については、個別に回収可能性を勘案して貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価格から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価格をもって時価としております。

⑷長期性預金

長期性預金である定期預金については、年度末直前に預け入れをしたものであるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

⑸破産更生債権等

破産更生債権等については、個別に回収可能性を勘案して貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価格から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価格をもって時価としております。

⑻リース債務及び⑼長期リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を、新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

（注２）敷金・保証金（貸借対照表計上額121,641,083円）及び長期預り金（貸借対照表計上額100,000,000円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積ることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、前表には含めておりません。

附属明細書

1　固定資産の取得及び処分並びに減価償却費及び減損損失の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産	建物	578,145,541	157,238,392	15,766,140	719,617,793	128,006,663	41,426,347	0	0	0	591,611,130	注１
	工具器具備品	915,136,889	183,710,676	12,426,148	1,086,421,417	545,595,797	174,388,851	0	0	0	540,825,620	注２
	計	1,493,282,430	340,949,068	28,192,288	1,806,039,210	673,602,460	215,815,198	0	0	0	1,132,436,750	
無形固定資産	電話加入権	10,952	0	0	10,952	0	0	0	0	0	10,952	
	ソフトウェア	561,944,968	63,377,714	0	625,322,682	307,386,373	115,207,823	0	0	0	317,936,309	注３
	計	561,955,920	63,377,714	0	625,333,634	307,386,373	115,207,823	0	0	0	317,947,261	
投資その他の資産	長期性預金	0	200,000,000	0	200,000,000	0	0	0	0	0	200,000,000	注４
	破産更生債権等	7,205,768,111	1,927,213,843	629,399,863	8,503,582,091	0	0	0	0	0	8,503,582,091	注５、注６